

令和7年度 卒業論文要旨

学生氏名	濱田 圭吾
論文 タイトル	中国社会信用システムの制度アーキテクチャ分析 —4軸による日中比較と日本の信用制度設計—
要旨	<p>中国の社会信用システム（SCS）を単一スコアではなく、行政・司法・規制・取引を横断する信用記録の収集・共有と賞罰を接続する制度群として捉え、制度アーキテクチャを①ガバナンス②データフロー③インセンティブ④官民関係の4軸で比較可能に記述した。文献研究を主とし、LBDで概念抽出と4軸マッピングを補助。結果として、失信概念の拡張、横断的データ統合、非刑事的な制約波及、民間PFを介した統制拡張が固有構造であり、企業には行政効率化や取引コスト低下等の便益があり得る一方、予見可能性低下、過剰適応によるイノベーション抑制、政策誘導ツール化、データ集約の脆弱性などの構造的リスクも確認した。日本は目的限定・分散管理・制裁封じ込め・官民分離が安全装置として機能し、設計選択を便益とリスクのトレードオフとして再定式化、目的限定・比例性、第三者監査、権利救済、連携範囲統制、官民役割透明化を成立条件として提示した。</p>